



# あかね文庫お話しの会 おひさまだより



## 絵本アンケート

### “おうちの方にききました 2”

☀️ お子さんのN君(4歳)の話

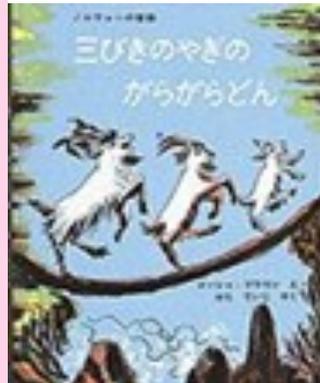
『三びきのやぎのがらがらどん』『おおかみと七ひきのこやぎ』『おおきなかぶ』:

がらがらどんと七ひきのこやぎは、トロールや おおかみが出てくるとドキドキするのが楽しく、最後は悪者をやっつける！そのすっきり感というか、あ～良かった！というところが好きです。おおきなかぶはどんどん人や動物が増え、「おばあさんがおじいさんをひっぱって、おじいさんがかぶをひっぱって・・・と同じ言葉のくり返しを好んでいます。入院する前、保育園の年少組の発表会で、大好きながらどんの劇をすることになり、「トロールをするんだ！」とはりきって教えてくれました。体がちいさい方だったので「小さいやぎじゃない？」と思ったり、園の先生も笑って「Nちゃんがトロールだって！」

でも、その頼もしさは誰もが意外でした。当日は月齢の高い子達の後には一歩遅れて「トロールだぞ～」。その姿が何ともかわいくて(親ばかりですが)印象的でした。

新しい楽しい絵本もどんどんでていますが、昔からのよい絵本を大事にし、これからも読み聞かせていきたいです。

## えほんの紹介



### 『三びきのやぎのがらがらどん』

北欧ノルウェーの民話/  
マーシャ・ブラウン絵/  
せたていじ 訳/  
福音館書店:

むかし、“がらがらどん”という同じ名前の三びきのやぎが、ある時山の草場でふとろうと山へ登っていきました。ところが、谷川の橋の下にはおそろしいトロールが一飲みにしようと待ちかまえています。さあ、どうやってトロールと戦ったでしょう。最後に大きいやぎがトロールをやっつけて「チョキン パチン ストン」と話が終わるまで、子どもはワクワク、ドキドキです。簡潔で、力強く、ダイナミックな絵によるお話に子どもは大満足で、繰り返し読んでもらいたがる絵本です。

## 小さなおともだち

### 明るい笑い声が・・・♡

ある日のおはなしの時間です。プレイルームはだれもいなくて静かです。一人ひとりのお部屋での絵本タイムです。しばらくすると、どこのお部屋からかとても楽しそうな笑い声が聞こえます。小さな男の子(Kちゃんかな?)のキャットキャットという笑い声は、午後の病棟をととても明るい空間に変えてくれました。読んでもらっていた絵本は何だったのかな？

私たちの気持ちも温くなりました。